

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】


■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	コメリHC菊池店		階数	地上1F
建設地	熊本県菊池市西寺字古関後1458番		構造	S造
用途地域	都市計画区域外		平均居住人員	20人
気候区分	地域区分IV		年間使用時間	4,500時間/年
建物用途	物販店		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年10月	予定	評価の実施日	2011年8月20日
敷地面積	11,690 m ²		作成者	
建築面積	5,254 m ²		確認日	2011年9月21日
延床面積	4,643 m ²		確認者	



外観図の貼り付けは、
【外観図】シートへ貼り付けてください。

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 0.8

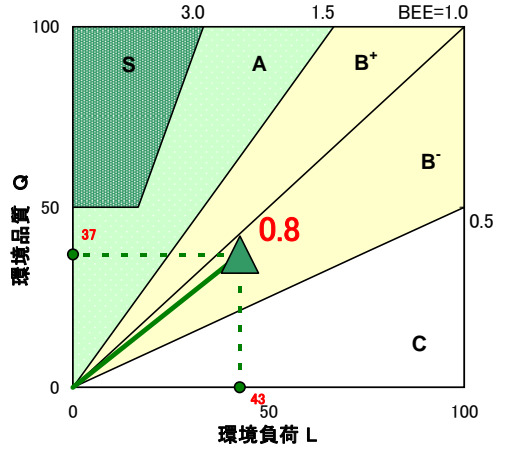
■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	-
E ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	-
E ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	-
C	★	劣る	0.5未満	-

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
3C%以下	☆☆☆☆☆
3C%超6C%以下	☆☆☆☆
6C%超8C%以下	☆☆☆
8C%超100%以下	☆☆
100%超	☆



環境品質 Q

環境負荷 L

BEE=1.0

3.0 1.5 0.5

100 50 0


0 50 100

37 43

0.8

S A B⁺ B⁻ C

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)




排出率

71%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

71

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現




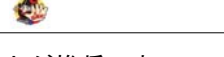
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】 循環型社会の実現

評価点

87.7
58.7
46.4
72.0

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE[®]熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コメリHC菊池店	階数	地上1F
建設地	熊本県菊池市西寺字古閑後1458番	構造	S造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	20人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,500時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年10月 予定	評価の実施日	2011年8月20日
敷地面積	11,690 m ²	作成者	
建築面積	5,254 m ²	確認日	2011年9月21日
延床面積	4,643 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (120 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 71% (85 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外のオンサイト手法: 71% (85 kg-CO₂/年・m²)

④上記+オフサイト手法: 71% (85 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 **評価点 = 88**

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **評価点 = 59**

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 **評価点 = 46**

重点事項4: 循環型社会の実現 **評価点 = 72**

重点事項の評価(レーダーチャート)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

外部負荷を低減する為に開口部は必要最低限とした。
外壁の色、配置、夜間の照明・騒音など、近隣への迷惑、公害等が生じないように配慮した。

Q1 室内環境

建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、良好な空気環境に努めた。

Q2 サービス性能

売り場の天井高さを高くし、売り場の仕切壁を減らすことで、開放的でゆとりのある空間とした。

Q3 室外環境（敷地内）

防犯性に配慮した環境作りに努めた。

LR1 エネルギー

エネルギー効率の良い機器の採用をし、エネルギー使用の効率化を図った。

LR2 資源・マテリアル

躯体と仕上げが容易に分別可能。

LR3 敷地外環境

夜間照明は周辺地域に配慮した。

その他

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
コメリHC菊池店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年版
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境			0.40					2.5
1 音環境		1.8	0.15	-	-	-	-	1.8
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1.1.1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	-	-	-	
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	-	-	
2 温熱環境		2.1	0.35	-	-	-	-	2.1
2.1 室温制御		2.1	0.50	-	-	-	-	
2.1.1 室温		2.0	0.50	3.0	-	-	-	
2.1.2 負荷変動・過渡制御性		-	-	-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		1.0	0.17	3.0	-	-	-	
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
2.1.6 種別制御		-	-	-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	-	-	
3.1.1 昼光率		3.0	-	3.0	-	-	-	
3.1.2 方位別開口		-	-	3.0	-	-	-	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		3.0	-	3.0	-	-	-	
3.2.3 眩り込み対策		-	-	-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	-	3.0	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
4 空気質環境		3.2	0.25	-	-	-	-	3.2
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	-	-	
4.1.1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な採用	4.0	1.00	3.0	-	-	-	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		2.0	0.30	-	-	-	-	
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	-	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	-	-	-	
4.2.4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	売り場全体が禁煙 事務エリアに分煙設備あり	5.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	3.0
1 機能性		2.8	0.40	-	-	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	-	-	
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30	-	-	-	-	
1.2.1 広さ感・景観	売り場天井高:4.5m	5.0	0.33	3.0	-	-	-	
1.2.2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-	-	-	
1.2.3 内装計画		1.0	0.33	-	-	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	-	-	
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	-	-	
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種以上にC以上を使用している	4.0	0.15	-	-	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	通信手段の多様化・精密機器の浸水による情報網の損傷回避に	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.5	0.29	-	3.5
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	軒高:5.8m	5.0	0.60	3.0	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.084	5.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			2.7	0.38	-	-
1	空調配管の更新性	天井スペースが確保されている	4.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		1.0	0.22	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率空調の採用	4.9	0.30	-	4.9
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	4.0		-	
		集合住宅の評価	3.6		-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	2.8
1 水資源保護			2.2	0.15	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-
1	消火剤	粉末(ABC)消火剤の使用(フロンガス不使用)	4.0	0.33	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	グラスウールの使用	5.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		省エネ設備の導入	4.1	0.33	-	4.1
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減	調整池(地下貯留型)の設置	4.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	自転車置き場の確保、駐車スペース・駐車施設の確保	5.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	初期照度補正機能の採用	5.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 コメリHC菊池店

■評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v1.3)_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		70.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				87.7	0.40	35.08
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.00			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.9	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				58.7	0.20	11.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				46.4	0.20	9.28
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	1.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				72	0.20	14.40
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.1	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.5	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数